

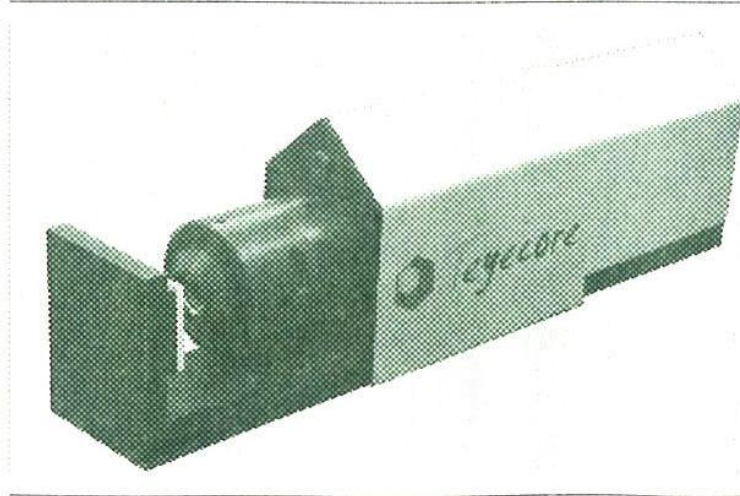
# 位置検出誤差0.1マイクロメートル実現

## ジエイネットが装置開発

【さいたま】ジエイネット（埼玉県越谷市、長谷川浩幸社長、048・973・1030）は、測定誤差0.1ミリの位置検出装置「ジエイネット写真」を開発した。エンドミルやドリルなどの先端位置を回転状態で連続測定できる。回転による上下の伸縮や左右の振れを把握でき、加工機の限界性能を引き出せる。すでに大手自動車部品メーカーの生産技術開発部門への納入が決まっている。

発光ダイオード（LED）を光源にした非接触

撮像方式の測定装置。画像解析ソフトと組み合わせることで、高精度連続測定を可能にした。販売は丸善機械（東京都墨田区、桑内清啓社長、03・3625・3911）が担当する。



加工機の多くは、回転による工具位置のズレを抑えるために、冷却や機械的な補正がされている。しかし、実際には静止時と回転時との間に若干の誤差が生じてい

る。

これまで一般的に使われていたレーザー測定器は、温度変化への対応に課題があり、静止状態での測定しかできない。精度にも限界があった。

ジエイネットは受託加工業者で、1・2ミリの厚の材料に50ミリの穴を500個開け、各穴にテーパーをつけるなどの微細穴加工技術を持つ。これを検査する精密測定器が必要となり、今回の装置を自社開発した。